

(公社)静岡県獣医師会長賞

## うちの猫と迷い猫

袋井市立袋井南小学校

六年 宮本 歩

ぼくの家には、一匹のメス猫がいます。この猫の名前は「ミウ」といいます。ミウが家に来たのは、平成十四年で今は十一才。人間で言うとおばあちゃんになります。

ミウは雑種で毛が茶色です。ミウはおばあちゃんなのに、毛がふさふさしていてなでるととても気持ちが良い、とてもかわいのですが、人見知りがひどく知らない人が来るとすぐにかくれています。しかし猫を飼っている人が来るとにおいをかぎにきます。なのでその人は、「なんでこんなにかぐの」と聞いてきたりします。

ミウはいつも家の二階にいますが、冬になると三階でいっしょに寝たりします。ミウがふとんに入るととても温かく、ぐっすりとねむれます。

しかしミウはもう年よりで、あと何年生きるかわかりません。でもまだ元気なので、もっと生きてほしいです。

夏休みの間に、ぼくは家の近くで迷い猫に出会いました。この猫は、家の近くの花だんの横を歩いていました。猫は自分のことに気付くと、すぐにかくれてしまいました。ぼくはお母さ

んを呼んで猫を見ると、お母さんは、

「この子生まれてから一ヶ月位の子猫だね」

と言って子猫の様子を見ていました。この子猫はどこから来たのか分かりませんでした。そのため、下手にさわるとミウに病気がうつってしまうためさわることができず、どうしようもありませんでした。なのでそのままにしておいたら、シャッターのすきまから建物の中に入ったり、車の下から中に入ったりとても大変でした。

そんな好奇心おうせいの子猫が草や木のかげ丸まってしまいました。どうしたのかと思ってみるとお母さんが、

「この子寝ているね。」

と言いました。正直ぼくはほっとしました。

「もしこの子猫が死んじゃったらどうしよう」

とまで思いました。なぜここまで心配したのかと言うと、この子猫がミウの小さいころに似ていたからです。この子の事を心配していると、近所の人が猫を動物病院に連れて行ってくれました。病院で見もらった結果、子猫は右足をけがしていることが分かりました。でも病院が手当てをしてくれたおかげで子猫はけがも治り、たくましくなりました。

今はまだ近所の人があずかってくれていますが、早く飼ってくれる人が見つかって大事にしてくれるといいです。